

中学校・高等学校「保健体育」教科及び教科の指導法に関する科目担当者(人間健康学部)

施行規則に定める科目区分等		授業科目	単位数		担当者	保有する学位	業績
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択			
体育実技		総合野外活動実習Ⅰ		1	中野 匡隆	修士(体育学)	共著「屋根付きテニスコートのWBGT測定-一日射遮蔽効果の検証-」『日本生気象学会雑誌』第57巻、第1号、2020年。
		総合野外活動実習Ⅱ		1	中野 匡隆	修士(体育学)	共著「熱中症の事前学習が熱中症既往者数に及ぼす影響」『日本生気象学会雑誌』第53巻、第1号、2016年。
		総合野外活動実習Ⅲ		1	中野 匡隆	修士(体育学)	共著「携帯型発汗計を使用したゲレンデスキー中の局所発汗量の測定」『発汗学』第26巻、第1号、2019年。
		トレーニング実習	1		中野 匡隆	修士(体育学)	共著「高校生アマチュアボクシング選手のウェイトコントロールの状況分析」『スポーツ健康科学研究』第36巻、2014年。
		レクリエーション実技		1	大勝 志津穂	博士(体育学)	「大学における運動部活動を通じた人材育成-ライフスキル獲得に着目した取り組み」『学生の「力」をのばす大学教育-その試みと葛藤』第1章 愛知東邦大学地域創造研究叢書No.22 唯学書房 pp.3-9 2014年
		専門スポーツ実習(器械運動)	1		小島 正憲	修士(体育学)	「倒立姿勢の「腰が反る」動作を改善するための事例的研究-マット運動から-」『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年。
		専門スポーツ実習(陸上競技)	2		木野村 嘉則	修士(体育学)	「走幅跳における助走歩数を増やして踏切るための踏切動作：短助走跳躍から長助走跳躍に至る踏切動作等の変化率に着目して」『体育学研究』第57巻、第1号、2012年。
		専門スポーツ実習(水泳)	1		渡邊 素幸	学士	日本水泳公認上級コーチ資格に基づき経験多数。「国民体育大会愛知県競泳監督並びに日本代表選手を輩出」
		専門スポーツ実習(球技)	2		山村 伸 伊藤 数馬	修士(スポーツ健康科学) 修士(教育学)	「教員免許状更新講習実践報告-実技科目バスケットボール-」『武蔵丘短期大学紀要』第23巻、2016年。 日本バスケットボール協会公認コーチ
		専門スポーツ実習(剣道)	1		櫻井 秀樹	学士	全日本剣道連盟(剣道四段)資格に基づき経験多数
		専門スポーツ実習(柔道)	1		宮田 みき	学士	全日本柔道連盟(参段)の資格に基づき経験多数
		専門スポーツ実習(ダンス)	1		石原 弘恵	修士(健康科学)	名古屋市文化振興事業団主催(地域還元事業)「みる・まなぶ・ダンス」の講師を務める/至学館高校ダンス部コーチ
教科に関する専門的事項		スポーツ原理		2	大勝 志津穂	博士(体育学)	「体育・スポーツにおける多様な性のあり方ガイドライン Guidelines on Optimal Sexual Diversity in Physical Education and Sport (二か国語版)」発行。2020年9月。公益財団法人日本スポーツ協会。
		スポーツ心理学		2	山村 伸	修士(スポーツ健康科学)	「スポーツの価値意識に関する研究-中学生における日英比較-」『武蔵丘短期大学紀要』第19巻、2012年。
		スポーツマネジメント		2	吉池 淳	Bachelor of Arts(学士)	「オランダ・VVVフェンロと大阪国際学園のパートナーシップについて」『2013年度大阪国際大学オランダ・VVVフェンロ海外事情研修報告』2014年。
		スポーツ社会学		2	大勝 志津穂	博士(体育学)	「成人の多様な運動・スポーツ実施促進条件に関する社会学的研究-実施経験のジェンダー差に着目して-」中京大学体育学研究科博士論文。2019年12月
		バイオメカニクス	2		小島 正憲	修士(体育学)	共著「DARTFISHを用いて算出した上肢および下肢三関節の信頼性と妥当性：倒立動作の2次元分析を事例として」『Strength & Conditioning Journal』第25巻、第4号、2018年。
		トレーニング科学	2		木野村 嘉則	修士(体育学)	「走幅跳における助走歩数を増やして踏切るための踏切動作：短助走跳躍から長助走跳躍に至る踏切動作等の変化率に着目して」『体育学研究』第57巻、第1号、2012年。
		野外運動論	2		中野 匡隆	修士(体育学)	共著「学生トライアスロン競技のエネルギー消費量と運動強度の推定」『中京大学体育学論叢』第52巻、第2号、2011年。
		コーチング論	2		木野村 嘉則	修士(体育学)	Learning Outcomes for Physical Education in Long Jump: Is it Possible for 5th Graders to Learn Take-off Techniques that Enable Greater Vertical Velocity?International Journal of Sport and Health Science.2019.
生理学(運動生理学を含む。)		解剖生理学Ⅰ	2		中野 匡隆	修士(体育学)	共著Effect of hypercapnic severity on plasma ammonia accumulation and respiratory exchange ratio during incremental exercise.International Journal of Sports and Exercise Medicine .2015
		解剖生理学Ⅱ	2		谷村 祐子	博士(スポーツ医学)	Effects of three consecutive days exercise on lymphocyte DNA damage in young men.Eur J Appl Physiol. 2010.
		運動生理学	2		中野 匡隆	修士(体育学)	「運動によって誘発される遅発性筋痛に対する人工炭酸泉浴の影響」『東邦学誌』第47巻、第2号、2018年。
衛生学・公衆衛生学		衛生学	2		尚 雨華	博士(医学)	「地域在住女性高齢者における現在歯数20本未満の関連要因-名古屋身体操教室参加者における調査-」『口腔衛生学会雑誌』第70巻、第1号、2020年
		環境保健論	2		渡辺 弥生	修士(看護学)	「看護専門学校における学生への欠席に対する指導-A県内看護専門学校の教務主任の調査-」第48回日本看護学会論文集、看護教育、2018年。
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)		学校保健	2		尚 雨華 上田 裕司	博士(医学) 修士(学校教育学)	「大学生の食生活実態と食育の課題-朝食の欠食頻度に焦点を当てて-」『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年。 「学習指導要領による中学校・高等学校の医薬品の学習」『学校保健研究』第56巻、第6号、2015年。
		小児保健論	2		尚 雨華	博士(医学)	共著「上海市小学生におけるシーラント処置状況に関する調査-一次予防の実施状況と児童の口腔衛生環境について-」『東邦学誌』第48巻、第1号、2019年。
		救急処置法	2		谷村 祐子	博士(スポーツ医学)	Effect of acupuncture on salivary immunoglobulin A after a bout of intense exercise.Acupunct Med. 2010.
		保健体育教育法Ⅰ	4		小島 正憲 山村 伸	修士(体育学) 修士(スポーツ健康科学)	「器械運動における指導法の一考察-マット運動(倒立編)-」『東邦学誌』第45巻、第2号、2016年。 「本学健康スポーツ専攻教員養成課程における保健体育科教育法体育分野の現状と課題」『武蔵丘短期大学紀要』第25巻、第1号、2017年。
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		保健体育教育法Ⅱ	4		上田 裕司	修士(学校教育学)	「中学校保健学習の準備、生徒の反応、使用指導方法等に関する保健体育科教員の意識-質問紙調査の小単元の分析から-」『学校保健研究』第57巻、第5号、2015年。

中学校・高等学校「保健体育」教育の基礎的理解に関する科目等担当者（人間健康学部）

施行規則に定める科目区分等		授業科目	単位数		担当者	保有する学位	業績
科目	各科目に含める必要事項		必修	選択			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論	2		丹下 悠史	修士 (教育学)	「問題解決学習の道徳教育としての意義と課題」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）』第60巻、第2号、2014年。
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論（中・高）	2		丹下 悠史	修士 (教育学)	「道徳教育における教師の授業洞察力を高める研修方法の開発」『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年。
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育の制度と経営	2		丹下 悠史	修士 (教育学)	共著「小中連携教育における学校経営――校長から見た「子どもの学び」と「教師の学習」に関する意義と課題を中心に」『東邦学誌』第46巻、第1号、2018年。
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学（教育・学校心理学）	2		橋 廣	教育学修士	『子どもの手指活動と発達』三恵社、2019年。
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論（中・高）	2		高柳 伸哉 小川 征利	博士 (学術) 博士 (社会福祉学) 修士 (教育学)	「Psychometric properties of the Japanese ADHD-RS in preschool children.」『Research in Developmental Disabilities』第55巻、2016年。 「通常の学級に在籍する児童のきこえの困難さ検出用チェックリストの作成：因子分析的検討を通して」『特殊教育学研究』第51巻、第1号、2013年。
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論（中・高）	2		山川 法子	博士 (教育学)	共著『授業研究と授業の創造』淡水社、2013年。
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法（中学校）	2		丹下 悠史	修士 (教育学)	「道徳教育における教師の授業洞察力を高める研修方法の開発」『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年。
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法（中・高）	2		白井克尚	博士 (学校教育学)	「『伝統と文化』に関する総合的学習の意義についての一考察」『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年。
	特別活動の指導法	特別活動の指導法（中・高）	2		上田 裕司	修士 (学校教育学)	「中学校保健分野の医薬品の学習におけるデジタル絵本教材活用の効果」『兵庫教育大学学校教育学研究』第29巻、2016年。
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法論（中・高）	2		丹下 悠史	修士 (教育学)	共著「授業記録にもとづく授業分析のための手法に関する試験的研究」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）』第62巻、第2号、2016年。
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（中・高）	1		上田 裕司	修士 (学校教育学)	「喫煙、飲酒、薬物乱用、医薬品の乱用など防止教育に対する中学校教員の意識と関連要因」『兵庫教育大学共同研究論文集（学校教育コミュニティ）』第7号、2017年。
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談（中・高）	2		高柳 伸哉	博士 (学術)	共著「理解と支援の基本 二次障害の問題 不登校・学校での不適応の背景として」『必修発達障害支援ハンドブック』金剛出版、2016年。
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論（中・高）	1		清水 克博	修士 (教育学)	共著「キャリア・ポートフォリオの構成要素としての「学びの時間的展望」の実証的研究―公立学園H中学校開発担当者へのインタビュー調査を通して―」『愛知教育大学研究紀要』第70巻、2021年。
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前及び事後の指導（中・高）	2		上田 裕司	修士 (学校教育学)	「中学校学習指導要領による医薬品に関する授業実践研究」『学校保健研究』第55巻、第3号、2013年。
		教育実習Ⅰ（中・高）	4		上田 裕司	修士 (学校教育学)	「新高等学校指導要領による科目「保健」の医薬品に関する授業実践研究」『教育実践学研究』第13巻、第1・2号合併号、2013年。
		教育実習Ⅱ（高等学校）	2		上田 裕司	修士 (学校教育学)	「中学校学習指導要領による医薬品に関する授業実践研究」『学校保健研究』第55巻、第3号、2013年。
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		橋 廣	教育学修士	「教職実践演習を中心とした教職科目の検討：アクティブ・ラーニングの視点から」『東邦学誌』第46巻、第1号、2017年。
					小島 正憲	修士 (体育学)	共著「教職実践演習を中心とした教職科目の検討：アクティブ・ラーニングの視点から」『東邦学誌』第46巻、第1号、2017年。
丹下 悠史					修士 (教育学)	共著「授業記録にもとづく授業分析のための手法に関する試験的研究」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）』第62巻、第2号、2016年。	

中学校・高等学校 大学が独自に設定する科目担当者（人間健康学部）

	免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数		担当者	保有する学位	業績
			必修	選択			
中学校	大学が独自に設定する科目	社会福祉概論	2		藤沢 真理子	博士 (社会福祉学)	『防災福祉コミュニティと避難行動要支援者支援』『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年。
高等学校		社会福祉概論	2		藤沢 真理子	博士 (社会福祉学)	『防災福祉コミュニティと避難行動要支援者支援』『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年。
		道徳教育の指導法（中学校）		2	丹下 悠史	修士 (教育学)	『道徳教育における教師の授業洞察力を高める研修方法の開発』『東邦学誌』第46巻、第2号、2017年。